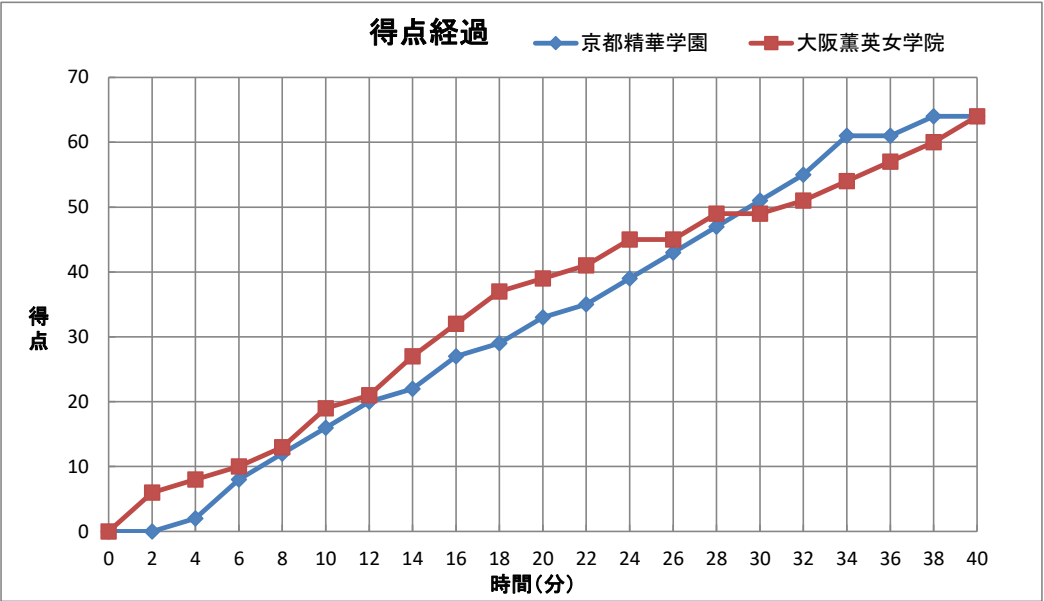




第72回近畿高等学校バスケットボール大会

個人トータル表

女子							令和7年6月22日							13:10 開始						
決勝							グリーンアリーナ神戸							M						
◎ 京都精華学園 72							161st19 172nd20 183rd10 134th15 8OT5							69 大阪薫英女学院						
番号	氏 名		得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏 名		得点	3P	2P	FT	反則					
* 4	坂口 美果		2	0	1	0	2	* 4	幡出 麗実		16	4	2	0	2					
* 5	金谷 悠加		2	0	1	0	1	* 5	三輪 美良々		16	0	7	2	3					
* 6	石渡 セリーナ		11	0	5	1	1	* 6	的場 梨緒		2	0	1	0	0					
7	太田 楓		-	-	-	-	-	* 7	松本 璃音		12	2	3	0	3					
8	十倉 陽美		-	-	-	-	-	* 8	細澤 幸生		0	0	0	0	1					
9	石綿 文		0	0	0	0	0	9	荒木 琉伽		-	-	-	-	-					
10	堀 心優		-	-	-	-	-	10	杉山 もも		2	0	0	2	2					
11	速水 純里		0	0	0	0	0	11	大槻 佳子		14	2	4	0	4					
12	谷 彩南		2	0	1	0	0	12	富田 涼々野		-	-	-	-	-					
13	満生 小珀		9	1	1	4	1	13	吉田 沙希		0	0	0	0	1					
* 14	吉田 ひかり		13	0	2	9	0	14	黒川 春陽		-	-	-	-	-					
* 15	ンガルラ ムクナ リヤ		14	0	7	0	2	15	今井 優蕾		7	0	3	1	3					
16	石井 日菜		0	0	0	0	0	16	島袋 凜心		-	-	-	-	-					
17	高山 留里那		2	0	1	0	1	17	原 乙羽		-	-	-	-	-					
18	オディア カウエル リッツ		17	0	8	1	2	18	君島 凜		-	-	-	-	-					
コーチ	山本 綱義							コーチ	安藤 香織											
Aコーチ	豊田 薫							Aコーチ	長渡 由子											
合 計			72	1	27	15	10	合 計			69	8	20	5	19					
クルーチーフ: 汐 野 壱 歩																				
1stアンパイア: 佐 藤 慎 士								2stアンパイア: 笹 川 尚 宏												



TO	1・2Q		3・4Q			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	:	:	:	:	:	:	:
TeamB	:	:	34:03	:	:	44:36	:	:	:

〔 戦 評 〕

【第1Q】立ち上がり大阪薫英が#4幡出の連続3Pシュート、#5三輪のゴール下シュートで0-8とリードを奪う。対する京都精華はゴール下を固める大阪薫英の前に4分間ノーゴールが続くが、#14吉田のバスケットカウントや#13満生の3Pシュートで8-8の同点に追いつく。ここから両チーム点数を取り合い均衡したゲームになるが、終了間際、大阪薫英#5三輪のミドルシュートが決まり16-19の3点リードで終了。

【第2Q】流れを掴んだのは大阪薫英。#15今井や#5三輪のバスケットカウントが決まり22-30とこの試合最大の8点差に広げる。京都精華は高さを生かしたゴール下を徹底して狙い#18オディアのバスケットカウントやハイロープレー、リバウンドからの#6石渡の速攻で苦しい時間帯をしのぎ33-39の大阪薫英6点リードで前半終了。

【第3Q】後半立ち上がり京都精華が地力を発揮し始める。#4坂口のミドルシュートや#5金谷のドライブ、#13満生の2本のフリースローで残り4分10秒で43-45と2点差に迫る。大阪薫英も#11大槻のドライブや#15今井のゴール下シュートで一進一退の攻防を繰り返す。大阪薫英リードで3Q終了するかに思えたが、残り0.1秒で放った#14吉田の3Pシュートがファウルを受け、スリーショットとなる。これを3本とも決め51-49この試合初めて京都精華がリードし3Q終了。

【第4Q】京都精華は逆転した勢いそのままに#17高山のミドルシュートや#18オディアのこのクォーター8得点目のゴール下を決め、7点リードの残り5分57秒61-54で大阪薫英タイムアウト。大声援を背に粘り強くディフェンスを継続した大阪薫英は、#10杉山の3Pシュートや#7松本の連続ドライブが決まり、残り1分10秒でついに同点に追いつく。京都精華は残り0.4秒でエンドボールを得るが#15ンガルラのシュートが惜しくも外れ、試合はオーバertimeへ突入する。

【OT】大阪薫英は#4幡出の速攻でリードするが、京都精華は#18オディアの連続得点や#13満生の2本のフリースローで70-66と逆転に成功する。対する大阪薫英も#4幡出の3Pシュートで70-69の1点差に迫るが、残り24.5秒で京都精華は#14吉田が2本のフリースローを決め返し、72-69と3点リードする。このシュート後に大阪薫英はタイムアウトを取り、#4幡出に同点の3Pシュートを託すも外れタイムアップ。京都精華が72-69の3点差で勝利し2年連続の優勝を勝ち取った。敗れはしたが終始ハードなディフェンスで留学生に対して身体を張り続けた大阪薫英の「奮斗」を称えたい。

戦評: 西岡 真仁 記録: 県立明石高等学校